

広報

大地

平成27年1月15日発行

〈発行所〉

空知郡中富良野町丘町7番18号

富良野土地改良区

TEL 0167-44-2131

FAX 0167-44-2736

E-mail : soumu.kairyoku@furano.ne.jp

ホームページ

<http://www.furano.ne.jp/midorinet>

〈編集〉総務課



完工を迎えた経営体育成基盤整備事業興農地区区画整理後の圃場
東4線北18号付近（平成26年6月2日撮影）

豊かな水と大地



No. 29

おもな内容

- 新年のご挨拶
- 平成26年度 臨時総代会概要
- 平成25年度 決算関連
- 通年施行の取り組みについて
- 災害時応援協定の締結について
- 多面的機能支払交付金について
- 複式簿記会計の導入について
- 改良区からのお知らせ
- 各研修について
- 21世紀創造運動 活動報告
- JICA研修報告

新しい年を迎えて



理事長
鈴木弘美

謹んで新春のお慶びを申し上げます。組合員の皆様におかれましては、ご家族お揃いで新年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

昨年は、広島市の集中豪雨あるいは御嶽山の噴火、北海道でも礼文島で土砂崩れが発生する等、自然の脅威を改めて気付かされた年でありました。被災された方々のご冥福をお祈りするとともに、災害に関しては、人知が及ばないところはあっても、考えられませんが、考えられる範囲のことはしっかりと対策を講じておく必要があると考えさせられました。富良野の農業を顧みますと、融雪が遅れましたが四月末から五月上旬の播種・移植期は好天に恵まれ作業は順調に進みました。冷夏の予報に反し、夏場は高温多照となり生育が順調に進む一方、麦や畑作物は干ばつの影響を受け圃場により収量に差が生じているところがあります。米についても、作況指数は平年以上でありましたが、未熟米が多くま

た米価の低迷も有り、農家経営が非常に厳しい状況であります。この様な中におきましても、組合員の方々のご理解とご協力により本土地区改良区の運営がなされていることに心より感謝申し上げます。

さて、昨年十二月の衆議院選挙では与党自民党が公明党との連携により定数四七五議席中三二六議席を確保し、衆議院での再可決に必要な要件である議席の三分の二以上となり安定的な国会運営が出来る基盤を築きました。安倍首相が推進する三本の矢の一つ「成長戦略」では、「農業は成長産業」として上げております。他の生産業が海外に生産拠点を設けている中、少子高齢化でも非正規雇用が増えている現状から国内産業の振興として掲げているのかと理解しております。農産物の積極的な輸出・農業の六次化の推進等を掲げて、農政改革やT P P交渉等が今後も継続的に進めていくことと思っております。農業生産基盤の維持向上のための農業農村整備事業の予算は、基礎的財政収支の関係あるいは消費税増税時期の繰り延べの影響があるのか、補正予算を含めた全体規模の平成二十七年当該年度予算額は厳しい状況であり、二十七年当該初予算の確保を強く求めてきたところです。各種土地改良事業の着実な推進のため、あらゆる手段を持って関係機関に働きかける所存です。平成二十六年度の本土地区改良区の各種土地改良事業について簡単に報告します。国営事業については、国営総合農地防災事業「空知川地区」は昨年から造成した新空知川頭首工より取水を行っております。旧頭首工は既に一部解体され、平成二十七年度は全て撤去となり、供用後およそ六十年の歴史の幕を下ろします。国営農地再

編整備事業「富良野盆地地区」は、区画整理工二五六㌔を施工し、平成二十八年度の工事完了を目指しております。国営かんがい排水事業「ふらの地区」は、本工事に着手し東郷ダム洪水吐等の改修工事を施工しております。また、再生可能エネルギー（太陽光発電）の導入について検討を行っている状況です。

道営事業については、「興農地区」「西山地区」「平原西地区」の工事が平成二十六年度をもって完了しました。期成会役員および受益者の方々におかれましては、事業の推進にご尽力およびご協力を賜り、誠にありがとうございます。事業効果が十分に発揮されまして、各自農業経営の発展向上となりますようご祈念申し上げます。また「東中幹線地区」他かんがい施設更新の事業二地区も併せて完了となります。東中地区において大規模に道営土地改良事業を展開しておりますが平成二十六年度は「東中第一地区」が着工となりました。「東中東部地区」も来年度に着工予定であり地域としての本格的な総合整備が始まります。土地改良施設の整備の進捗状況に合わせて、基幹水利施設の管理体制の整備や管理組合の再編を今後の課題として検討する時期であると認識しているところであります。

新年を迎えて新たな気持ちで、本土地区改良区役員一同職責に精励し、組合員の皆様の要望に応えて行きたいと思っております。各関係機関との連携を密にして業務運営と土地改良事業の推進に当たりたいと思っておりますので、組合員の皆様からの一層のご協力・ご支援をお願い申し上げます。ご健勝と豊穰の秋をご祈念致しまして年頭のご挨拶と致します。

平成二十六年 第二回臨時総代会を開催する

平成二十六年第二回臨時総代会を十二月二日、午前九時より本土地改良区大会議室において開催した。

四十四名の総代の内三十五名が出席し、鈴木理事長の提案要旨説明の後、議長に出倉哲夫総代（東中地区）を選任、議事録記名人に浅田和見総代（草分地区）・福田浩総代（東郷地区）を指名し、



議長就任挨拶をする出倉総代



維持管理内容について質問をする前田総代

議案第一号
定款の一部改正について
議案第二号
財産（土地）の取得および処分について
議案第三号
平成二十六年 借入金の変更について



議決案件に賛成挙手する総代

議案第四号 平成二十六年 富良野土地改良区一般会計収入支出第二回補正予算について
その他
中心経営体農地集積促進事業について

各案件とも慎重審議頂き、全案件原案通り承認・可決頂いた。



用排水路の保全にご協力ください

用水路や排水路が汚染されると水田・畑だけでなく河川の生態系にも影響を及ぼします。環境を保全するためにもゴミの投棄や濁水の流出にご配慮下さい。

平成25年度 一般会計収入支出決算

科目別

(単位：円)

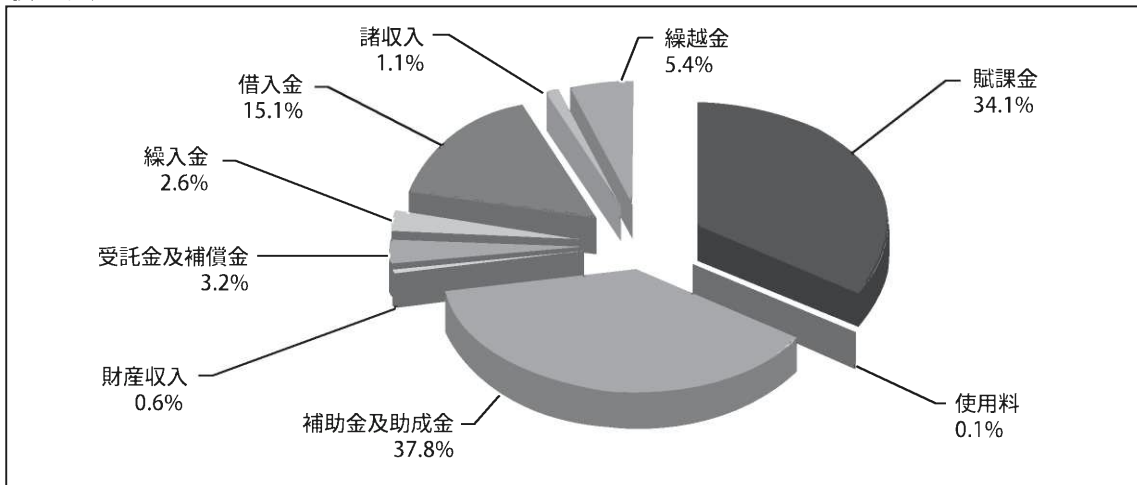
収 入			支 出		
款	科 目	予 算 額	款	科 目	予 算 額
1	賦 課 金	552,570,519	1	一 般 管 理 費	154,441,659
	(経 常)	305,157,378	2	営 造 物 管 理 費	80,456,776
	(特 別)	247,413,141	3	選 挙 費	128,880
2	使 用 料	1,987,349	4	土 地 改 良 事 業 費	699,014,121
3	補 助 金 及 助 成 金	613,665,521	5	諸 税 及 負 担 金	247,830,323
4	財 産 収 入	10,124,942	6	繰 出 金	57,201,958
5	受 託 金 及 補 償 金	51,372,757	7	償 還 金	270,719,884
6	繰 入 金	42,659,206	8	諸 支 出 金	2,248,127
7	借 入 金	244,900,000	9	交 付 金	348,232
8	諸 収 入	17,652,053	10	推 進 費	1,435,752
9	繰 越 金	86,830,607	11	予 備 費	0
合 計		1,621,762,954	合 計		1,513,825,712

収入決算額
1,621,762,954円

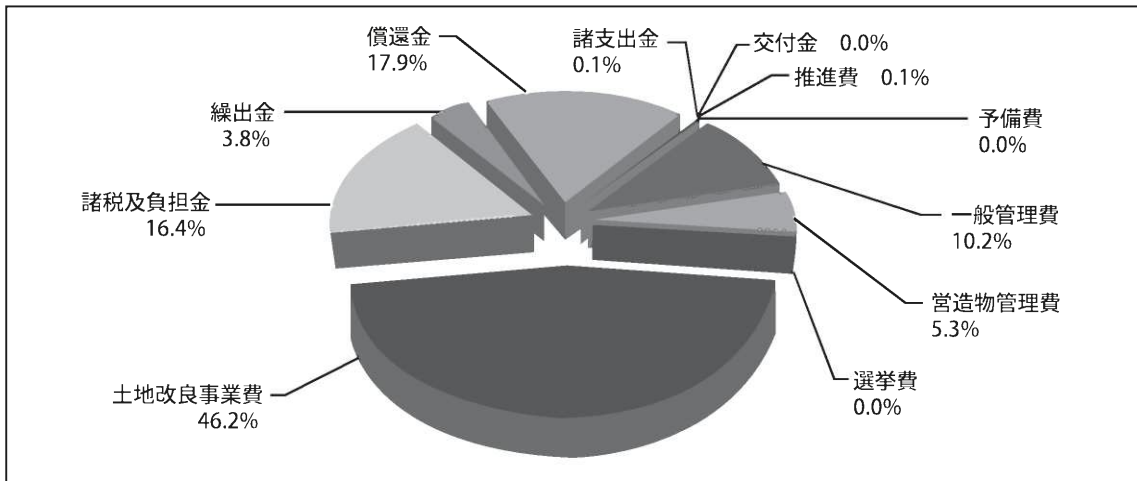
支出決算額
1,513,825,712円

翌年度繰越額
107,937,242円

収 入



支 出



平成25年度 財産目録

資産の部		単位(円)
種別	金額	
流動資産	114,553,365	
現金及び預金	107,937,242	
未収金	4,384,123	
前払金	0	
土地改良施設維持管理適正化事業拠出金	2,232,000	
特定資産	1,487,026,634	
基本財産	195,665,229	
積立金	1,278,451,588	
出資金	12,909,817	
固定資産	114,176,598	
土地	29,459,651	
建物	30,583,672	
車輛	28,529,174	
備品	25,604,101	
合計	1,715,756,597	

負債の部		単位(円)
種別	金額	
長期負債	1,838,742,813	
政策公庫資金	1,006,463,241	
償還平準化資金	60,273,906	
長期借入金	142,248,125	
国営空知川右岸(二期)地区借入金	104,757,541	
水田・畑作経営所得安定対策等支援資金	525,000,000	
短期負債	688,836,496	
土地改良施設維持管理適正化事業未払拠出金	1,668,000	
役員退任手当必要額	1,363,962	
職員退職手当必要額	197,880,600	
地区除外等決済金積立金	55,001,756	
償還準備積立金	401,251,046	
償還調整積立金	31,671,132	
合計	2,527,579,309	

平成25年度 各地区面積等内訳

地区	賦課面積(ha)	組合員数(名)	平均(ha)	積立金(円)	10a当(円)	1戸当(円)	借入金(円)	10a当(円)	1戸当(円)	未収金(円)	10a当(円)	1戸当(円)
共通	-	-	-	449,545,213	5,708	494,006	-	-	-	577,111	7	634
草分	917.00	143	6.41	71,348,068	7,781	498,938	229,101,427	24,984	1,602,108	-	-	-
東中	1,268.38	134	9.47	255,954,454	20,180	1,910,108	120,917,804	9,533	902,372	1,144,139	90	8,538
平原	3,256.91	308	10.57	317,287,052	9,742	1,030,153	1,091,293,299	33,507	3,543,160	-	-	-
扇山	475.02	57	8.33	23,775,941	5,005	417,122	101,409,099	21,348	1,779,107	-	-	-
東郷	1,958.32	268	7.31	319,141,840	16,297	1,190,828	215,502,286	11,004	804,113	2,662,873	136	9,936
空知川	-	-	-	30,110,949	-	-	38,818,898	-	-	-	-	-
フラヌイ	-	-	-	6,953,300	-	-	41,700,000	-	-	-	-	-
合計	7,875.63	910	8.65	1,474,116,817	18,717	1,619,909	1,838,742,813	23,347	2,020,596	4,384,123	56	4,818

平成25年度 主な会議の開催状況

会議名	回数	地区委員会	回数
総代会	4回 出席率 83.05%	総代協議会	1回
理事会	10回	役員協議会	3回
監事会	3回	建設工事指名委員会	1回
総務委員会	2回	管理組合長会議	1回
工務委員会	4回	維持管理会議	1回

平成25年度 各事業の施工状況

【国営事業】 3地区 6,226,863千円

(単位：千円)

事業名	地区名	着工年度	完了年度	総事業費	H25年度	進捗率	H26年度以降
国営かんがい排水事業	ふらの	H 15	H 32	9,300,000	58,985	53.1%	4,362,373
国営総合農地防災事業	空知川	H 20	H 28	10,700,000	1,487,719	47.5%	5,622,270
国営農地再編整備事業	富良野盆地	H 20	H 28	33,150,000	4,680,159	63.7%	120,340,943

【道営事業】 13地区 2,348,840千円

(単位：千円)

事業名	地区名	着工年度	完了年度	総事業費	H25年度	進捗率	H26年度以降
かんがい排水（一般）	東中幹線	H 22	H 26	950,692	226,336	99.1%	8,200
農地整備事業（経営体育成型）	東中央	H 24	H 32	2,467,000	351,949	24.0%	1,874,396
〃	東中南	H 24	H 32	1,704,000	359,397	27.4%	1,237,538
〃	東中西	H 25	H 33	1,540,000	85,300	5.5%	1,454,700
経営体育成基盤整備（一般）	興農	H 21	H 26	774,000	201,269	75.2%	191,968
〃	西山	H 22	H 26	579,000	243,561	72.6%	158,548
〃	寿	H 22	H 25	220,252	58,500	100.0%	0
経営体育成基盤整備（面的集積）	平原西	H 19	H 26	1,558,000	86,298	98.4%	24,443
〃	大沼北	H 20	H 25	1,286,349	77,877	100.0%	0
集落基盤整備（基幹水利施設保全型）	報徳	H 23	H 25	341,395	95,476	100.0%	0
〃	東幹線	H 24	H 26	229,000	172,497	78.1%	50,118
水利施設整備（基幹水利施設整備型）	島津	H 24	H 26	590,000	365,306	64.0%	212,362
〃	島津第2	H 25	H 32	1,400,000	25,074	1.8%	1,374,926

【各地区維持工事】 49件 19,669,755円

(単位：円)

地区	草分	東中	平原	扇山	東郷	空知川	フラヌイ
件数	12件	10件	12件	2件	6件	6件	1件
工事費	4,464,600	4,887,855	5,936,700	336,000	1,669,500	2,018,100	357,000

【障害防止対策事業】 5件 471,292,000円

(単位：円)

事業名	工事費	着工年度	完了年度
ヌノッペ幹線用水路改修工事	52,169,000	H 24	H 25
ヌノッペ幹線水温上昇施設新設工事	343,458,000	H 24	H 25
ヌノッペ幹線用水路改修工事第2工区	17,199,000	H 24	H 25
ヌノッペ幹線安全施設工事	26,250,000	H 24	H 25
ヌノッペ幹線用水路改修工事	32,216,000	H 25	H 26

【水利施設整備事業】 1件 148,669,500円

(単位：円)

事業名	工事費	着工年度	完了年度
水利施設整備事業報徳地区用水路補強工事	148,669,500	H 25	H 25



【維持管理適正化事業】 2件 6,594,000円

(単位：円)

事業名	工事費	着工年度	完了年度
維持管理適正化事業布部川頭首工設備修繕工事	2,236,500	H 25	H 25
維持管理適正化事業日新ダム設備修繕工事	4,357,500	H 25	H 25



【委託業務】 2件 3,381,000円

(単位：円)

事業名	工事費	着工年度	完了年度
施設管理情報データ作成業務	2,551,500	H 25	H 25
平成25年度水利施設維持管理資料整備業務	829,500	H 25	H 25

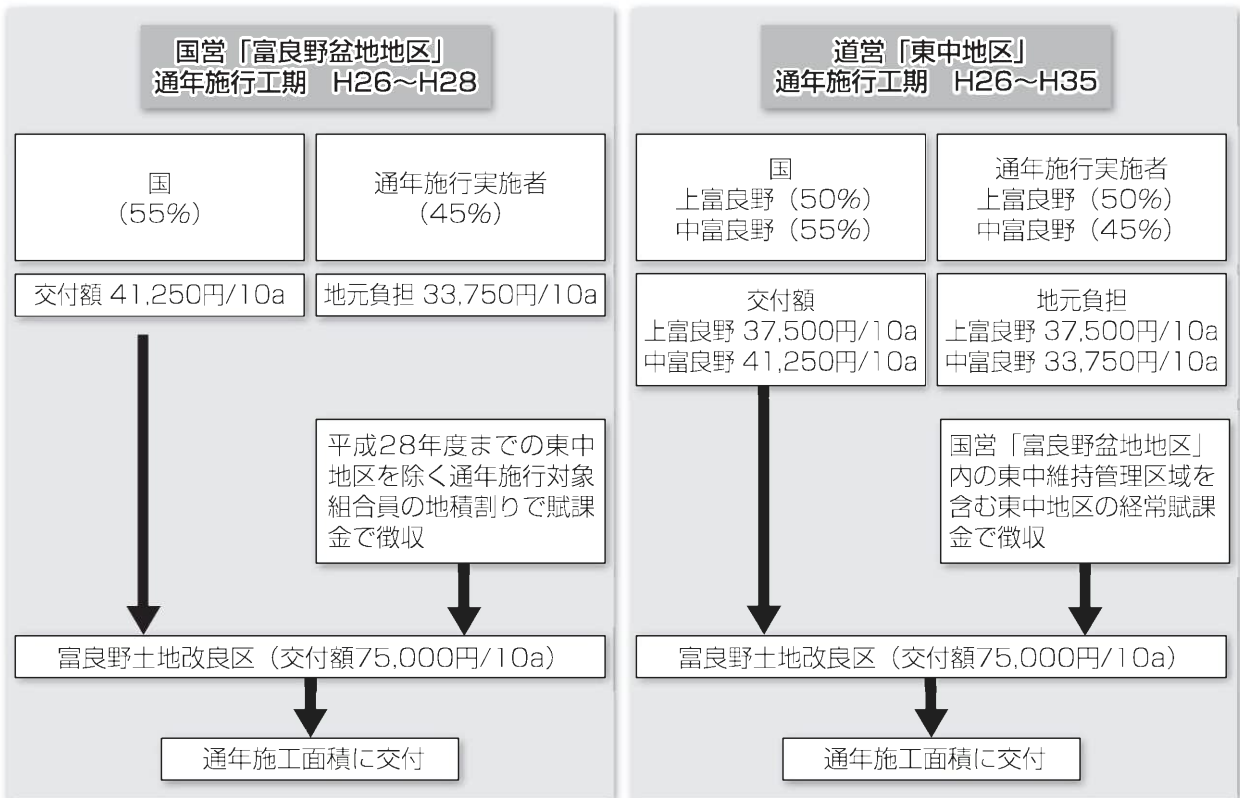
通年施行の取り組みについて

通年施行とは

農地整備事業は、通常作付け前または収穫後に実施することにより、春と秋に工事が集中することが多く、近年の異常気象に伴う豪雨・長雨により、工事完了が大きく遅延し営農に支障を来している。

そこで対象となる農地を休耕し、好条件の夏期に工事を実施する。それにより生じる所得損失を一定の基準で促進費を交付することで、早期工事完了・計画的な営農を実現する。

促進費の流れ



国営・道営事業地区別概要

国営農地再編整備事業		道営農地整備事業 東中地区				
富良野盆地地区		東中央地区	東中南地区	東中西地区	東中第1地区	東中東部地区
関係市町	富良野市・中富良野町	上富良野町	上富良野町	上富良野町	上富良野町	上富良野町
事業工期	平成20年～平成30年	平成24年～平成32年	平成24年～平成32年	平成24年～平成33年	平成25年～平成34年	平成27年～平成35年
受益面積	2,217ha	222ha	125ha	111ha	261ha	301ha
主要工事	区画整理 A=1,943ha	農業用排水 102条	農業用排水 54条	農業用排水 64条	農業用排水 52条	農業用排水 27条
	農地造成 A=274ha	区画整理 A=216ha	区画整理 A=124ha	区画整理 A=89ha	区画整理 A=261ha	区画整理 A=227ha
総事業費	34,110,000千円	3,170,000千円	1,808,000千円	1,655,000千円	2,850,000千円	4,754,000千円
交付予定面積	31.3ha	57.8ha	30.5ha	37.0ha	60.0ha	27.0ha
交付限度額	23,439千円	166,500千円	127,200千円	153,600千円	262,600千円	270,800千円



災害時応援協定の締結について

平成26年7月25日、富良野土地改良区と協力企業による災害時応援協定調印式を行いました。

この協定は、本土地改良区が管理する施設において、発生した災害の業務に関して、これに必要な建設機械、資材、労力等について、区と区管内企業がその確保及び動員の方法を定め、災害の拡大防止と被害施設の早期復旧を目的に締結しました。

管内企業（順不同・敬称略）

- 大北土建工業株式会社
- 株式会社 増山建設
- 株式会社 下久根建設
- 株式会社 アラタ工業
- 高橋建設株式会社



多面的機能支払交付金が法律に基づいた制度に変わります (旧農地・水・環境保全対策事業)

平成26年6月に、多面的機能支払（農地維持支払、資源向上支払）、中山間地域等直接支払、環境保全型農業直接支援を総称した「日本型直接支払制度」を法制化するための「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」が成立し、平成27年4月から施行されます。

これに伴い、今年度から始まった多面的機能支払は、来年度から法律に基づく安定的な制度となります。

平成27年度からの主な変更点

①計画制度

- ・活動組織は事業計画を作成して市町村の認定を受け、それに基づいて活動に取り組むこととなります。
- 中山間地域等直接支払及び環境保全型農業直接支援と併せて計画を策定することが可能となり、各施策を組み合わせて、計画的に取組を進めることができます。
- 現行の活動計画書を活用できるようにして、事務負担の軽減に努めます。

②交付ルート

- ・国→都道府県→市町村→活動組織となります。
- これまで3施策でそれぞれ異なっていた交付ルートが1本化されます。
- 地域協議会を、都道府県、市町村、活動組織の事務等を支援する組織として位置付けることを検討中です。

富良野土地改良区における複式簿記会計の導入について

土地改良区を取り巻く状況・情勢

土地改良区は多額の補助金を受けている公法人として地方公共団体並みの性格を有している公共団体で、財務状況も含め国民に対する説明責任や不祥事等を未然に防止できる現行の単式簿記に変わる会計処理の導入が求められています。

複式簿記会計の導入の必要性

- 1 区の財産（資産・負債）の増減状況を日常的に把握
 - ・組合員及び関係機関等にわかりやすく説明できる。
 - 2 コスト意識の高まりによる組合員からの要請に応える
 - ・各事業別に要した費用（コスト）を正確に把握することができる。
 - 3 スtockマネジメントに即応
 - ・複式簿記導入により資産の適正な評価が可能となる。
 - ・減価償却等を導入し、施設更新事業費等の積立基準を明確にする。
 - 4 複式簿記導入が主流
 - ・地方公共団体も導入の方向（総務大臣通知：平成27年度から3カ年で移行）
 - ・組合員等への説明責任を果たす。（大規模農家は複式簿記を採用）
 - 5 不正の未然防止
 - ・資金管理と資産管理が一体的に行われ、記帳ミスや不正の発見が容易になる。
 - 6 再生可能エネルギー導入の取り組み
 - ・小水力発電等による売電収入の維持管理費への充当も可能になる。
- ※国営造成施設による売電収入は、複式簿記による収支の明確化がなされることを条件とし、区全体の維持管理費にも充当することが可能

複式簿記会計の導入に係る今後の取組方針について

- ・平成27年度より2カ年試行運用、平成29年4月からの本運用を予定しております。

改良区から組合員の皆さまへお知らせです

組合員の資格移動・面積に変更がある時は届出が必要です

【組合員の資格得喪について】

下記の事由が生じた時に届出行為がない場合は現組合員に賦課されます。

1. 農地の売買、賃貸借による移動がある場合
2. 経営移譲または贈与された場合（農業者年金の受給・死亡の場合も含む）

【地区除外等決済金について】

土地改良区の賦課区域内にある農地を農地以外に転用するときは、地区除外等処理規程に基づき決済金を納めなければなりません。これは賦課面積の減少により現組合員に対して不当な割高負担を掛けない為、一定期間分の維持管理費及び事業償還金を一括して支払うものです。

1. 農地を宅地等に転用する場合
2. 農地を公共用地(道路・河川等)に売却された場合

※決済されない場合は従前の面積で賦課されます。
 ※組合員資格得喪・農地転用による地区除外申請の申請様式が富良野土地改良区公式ホームページに掲載されておりますのでこちらもご活用下さい。



ご不明な点がございましたら富良野土地改良区総務課管理係まで
 お気軽にお問い合わせ下さい。
TEL 0167-44-2131
FAX 0167-44-2736
 ホームページ<http://www.furano.ne.jp/midorinet>



各研修について

管理組合長合同研修について

平成26年10月23日～24日の日程で、管理組合長合同研修会を開催した。

研修場所はオホーツク総合振興局管内、国営かんがい排水事業を行っている湧別町兵村地区、美幌町・大空町の美女地区で、網走開発建設部担当者による排水整備の現地研修を行った。

総代研修会

平成26年11月13日～14日の日程で、総代研修会を開催した。

研修場所は夕張スーパーダム、石狩川頭首工、北海道農業研究センター、ホクレンパールライス工場である。夕張スーパーダムでは、試験放水によるサーチャージ水位への到達、洪水吐からの越流という貴重な光景を見学することが出来た。

21世紀創造運動 活動報告

21世紀創造運動とは

土地改良区の事業・役割等を多くの方に周知し、より多くの要望に応えるために地域のイベントに参加しながら皆様と一緒に考える事を目的とする運動です。

■昨年に引き続き21世紀創造運動の中から、平成26年8月1日にふらの農協中富良野支所で開催された「ふれあい広場」のアンケート調査について、前年度対比で報告致します。

◇問1 ご職業は？

	平成26年度		前年度		対比(%)
小学生	36人	15%	55人	20%	-5%
中学生	4人	2%	6人	2%	0%
高校生	1人	0%	3人	1%	-1%
大学生	2人	1%	0人	0%	1%
一般(農業)	70人	30%	66人	24%	6%
一般	114人	48%	142人	51%	-3%
無回答	9人	4%	5人	2%	2%

◇問2 お住まいは？

	平成26年度		前年度		対比(%)
旭川近郊	0人	0%	3人	1%	-1%
富良野近郊	216人	92%	262人	95%	-3%
道内	11人	5%	6人	2%	2%
道外	7人	3%	4人	1%	2%
無回答	2人	1%	2人	1%	0%

◇問3 水土里ネット(土地改良区)はご存じですか？

	平成26年度		前年度		対比(%)
知っている	201人	85%	212人	77%	9%
知らない	34人	14%	61人	22%	-8%
無回答	1人	0%	4人	1%	-1%

◇問4 水土里ネット(土地改良区)は何を行っているかご存じですか？

	平成26年度		前年度		対比(%)
知っている	164人	69%	175人	63%	6%
知らない	69人	29%	95人	34%	-5%
無回答	3人	1%	7人	3%	-1%

◇問5 用水路・排水路をご存じですか？

	平成26年度		前年度		対比(%)
知っている	17人	7%	35人	13%	-5%
用水路	5人	2%	3人	1%	1%
排水路	201人	85%	214人	77%	8%
知らない	13人	6%	25人	9%	-4%
無回答	0人	0%	0人	0%	0%

◇問6 農地・農業施設等の管理、活動に参加できますか？

	平成26年度		前年度		対比(%)
参加できる	121人	51%	156人	56%	-5%
参加できない	110人	47%	118人	43%	4%
無回答	5人	2%	3人	1%	1%

◇問7 これからの水土里ネット(土地改良区)に期待することはどのようなことですか？(複数回答可)

	平成26年度		前年度		対比(%)
1. 土地改良区の役割の啓発活動	101人	43%	93人	34%	9%
2. 地域住民との意見交換	66人	28%	80人	29%	-1%
3. 用水路の維持管理(草刈り・清掃等)	118人	50%	120人	43%	7%
4. 用水路等の景観の保全	67人	28%	73人	26%	2%
5. 用水路等の安全施設の充実	100人	42%	103人	37%	5%
6. 他農業団体や行政との連携強化	59人	25%	52人	19%	6%
7. その他・無回答	34人	14%	17人	6%	8%



今年アンケートに参加して下さった方は総勢236名でした。アンケートにご協力頂き大変ありがとうございました。

2014 JICA研修報告

昨年より地域提案型「農民主体型用水管理システム」として再スタートを切った3土地改良区（大雪、てしおがわ、富良野）協働のJICA研修を今年度も実施しました。

今年はブータン、カンボジア、ミャンマー、ネパール、パキスタン、フィリピン、スリランカ、東ティモールの8カ国9名の研修員が来日し、本土地改良区では今年度から1日延長し、6月23日～26日の4日間に亘り研修を行いました。研修内容として、本土地改良区の概要・運営及び役割の他、現地に赴き組合員の方から畑地灌漑の仕組みを学び、中富良野町、上富良野消防署中富良野支署、JAふらのの本所、シレラ富良野工場、富良野ワイン工場、ファーム富田、土の館等の視察を行いました。

ご多忙にも関わらずご協力頂いた皆様にご場を借りてお礼申し上げます。



職員の退職



総務課管理係 嘱託

本間 一美

○平成二十六年七月三十一日付

長い間大変お世話になりました。

寿

新人職員の挨拶



総務課管理係 臨時

松岡 里奈

○平成二十六年九月一日付

九月より勤務させて頂いております。まだまだ至らない点が多く、勉強の毎日ですが、初心を忘れず、業務に励んでいきたいと思っております。

どうぞ宜しくお願いします。

富良野に来て初めての冬、寒いときはマイナス二十度より下がることもあると聞き怯えていたのですが、今のところは割と暖かい日が続いています。このまま暖かい日が続けばいいなと思っている今日この頃です。（五十嵐）

